

シグナルマークについて

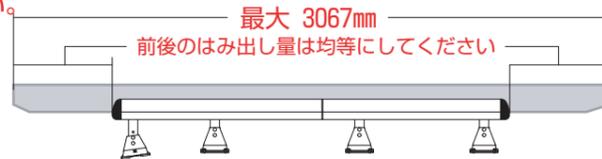
シグナルマークは危険のレベルを表します。それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で必ず記載の注意事項を守ってください。

- △警告 - 取扱いを誤った場合に、**死亡・重傷の危険が発生する可能性があります。**
- △注意 - 取扱いを誤った場合に、**軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。**

積載物と積載物の制限について

- △注意 最大積載重量は60kgまでです。過積載は絶対に行わないでください。使用状況によっては60kg未満でも屋根の変形及び、キャリアが破損する場合があります。また過酷な使用、制限を超える積載を行うことにより60kg未満でも積載能力は変化し低下いたします。
- △注意 本製品は荷物用の積載キャリアです。次の物は積載しないでください。
[スキー板・ストック・スノーボード・サーフボード・自転車・コンテナ・ウィンドサーフィン・ポール・ブーム・ボート・カヌー・カヤック]
- △注意 下記の大きさを超える荷物は積載しないでください。又積載物がキャリアからはみ出す場合は、はみ出し量は前後均等にはみ出すようにしてください。

品番	積載物の制限(単位=mm)		
	長さ	幅	高さ
SA-32	3067	1150	600



取扱い上の注意

- △警告 走行前には必ず、各締付け部にユルミが無いかを点検してください。
→締付け部にユルミがあると、**思わぬ脱落事故を起こします。**
- △警告 初期ユルミが発生しますので、**初回30キロ走行後には必ず各締付け部を増締めしてください。**
- △警告 キャリアの装着時は特に**法定速度を守り、急発進・急ブレーキ・急ハンドル等の過酷な避け、悪路では徐行してください。**
- △警告 走行中にキャリアからガタツキ音等の異常音が聞こえた場合は速やかに停車しキャリアの状態を確認してください。
- △注意 積載物をキャリアに固定する際は、脚部、を利用してロープ等で固定しないでください。
→脚部に集中的に大きな負担がかかり、脚部のネジ取付け部に緩みが発生し破損及び脱落の原因になります。
- △注意 積載物の重量の配分はどちらか(左右)に片寄らないようにしてできるだけ均等に平坦に積載してください。
→積載物が片寄ってしまうと運転に支障が生じたり、キャリアにも変則的な力がかかり破損や脱落事故の原因になります。
- △注意 積載物をキャリアから載せたり、降ろしたりする際はキャリアに衝撃がかからないようにゆっくりと行ってください。
→強い衝撃[集中的荷重]がかかることによりキャリアの破損及び脱落の原因になります。
- △注意 キャリアからはみ出す長尺物を積載した状態でバックドアを開けないでください
→バックドアのガラス面が当たり破損の原因になります。
- △注意 キャリアの装着時及び荷物を積載している時は車両の地上高が高くなる為、駐車場・高架等の高さ制限のある場所を通過する場合には十分ご注意ください。

海外使用について

本製品は、日本国内使用専用となります。海外(他国)使用により発生した際の品質保証は一切お受けいたしておりませんのでご注意ください。(対外規格は取得しておりません)また万一の事故、損害等のあらゆる責務に対しても、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承願います。

事故が起きたときは

製品の欠陥などにより万一事故が発生した時は速やかに販売店又は弊社までご連絡ください。事故対応をスムーズに行うためにお客様には以下の事をお願いします。

- (1)事故製品の確保・・・事故発生時のままの状態のもの(製品をバラしたりしない)
- (2)損害の内容・・・損害を受けた現物、また損害を証明できるもの
- (3)事故発生状況・・・日時、場所、事故発生状況、公共機関への届出(事故届、紛失届)
(いつ・どこで・何が・どのように)

お客様の誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承願います。

Rocky+ ロッキープラス株式会社

名古屋守山区元郷2-107 TEL 052-778-7876 FAX 052-778-7718

http://www.rocky.ne.jp rocky@rocky.ne.jp

ROCKY ROOF CARRIER

SAシリーズ 取扱い説明書

品番 / SA-32 NV200バネット・デリカバン専用

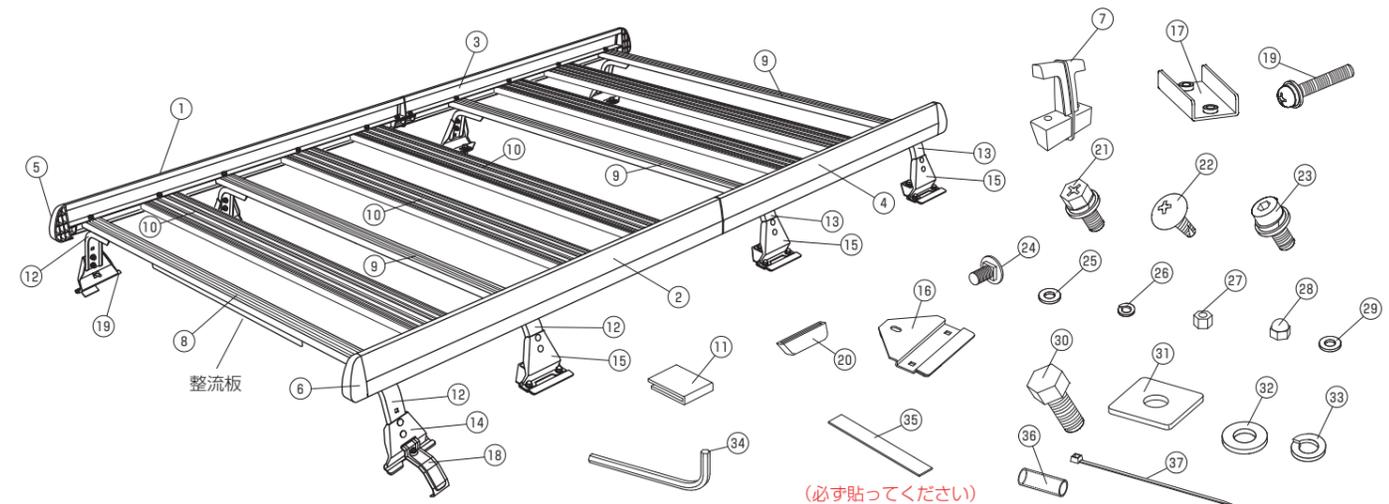
この度は、ロッキーフキャリア「SAシリーズ」をお買い上げいただきありがとうございます。常に安全な状態で使用して頂く為に「取扱い説明書」をよくお読みの上正しくご使用ください。
尚、販売店にて本製品を取付けられましたら本書を必ずお客様にお渡しください。
製品(組立て・取付け等)についてご不明な点はお買い求めの販売店又は、弊社までお問い合わせください。誤った組立て、取付け、使用による事故の責任は一切負いかねますのでご了承願います。

ご使用前に

- △警告 本製品は、ニッサン・NV200バネット(VM20系)／三菱・デリカバン(BVM20系)専用キャリアになります。他の車両には取付けしないでください。
- △警告 本製品の改造は絶対に行わないでください。
本製品の改造による事故責任は一切負いかねます。
「例」 部品類の穴あけ加工
市販品のアタッチメントを使用して荷物(スキー・自転車)等の積載
本製品以外の部品による組立て及び、部品交換
積載面を合板等で覆う
- △警告 部品不足での使用は絶対に行わないでください。
- △注意 キャリアを取付けた状態で洗車機にかけないでください。
キャリアに無理な力がかかり、ルーフの変形等の損傷を車に与えます。
- △注意 本製品には積載物の制限があります。制限を超える物は絶対に積載しないでください。
又、積載物がキャリアから、はみ出す場合は、はみ出し量は前後均等に積載してください。
裏面、「積載物と積載物の制限について」をよくお読みください。

構成パーツ

- 構成パーツは検査済みですが、組立てを行う前に必ず数量の確認を行ってください。



No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量
①	サイドフレーム長(前/右)	1	⑪	ゴムパッキン	20	⑳	⊕六角ボルトセットM6	22	㉑	角座金(防水ゴム付)	6
②	サイドフレーム長(前/左)	1	⑫	脚ステー[A・B]	4	㉒	⊕タッピングビス5ミリ	4	㉓	平座金 M8	6
③	サイドフレーム短(後/右)	1	⑬	脚ステー[C・D]	4	㉔	キャップボルトセットM6	16	㉕	バネ座金 M8	6
④	サイドフレーム短(後/左)	1	⑭	前用インナークランプ	2	㉖	角根ボルトM6	28	㉗	L型レンチ	1
⑤	先端キャップ(R)	2	⑮	インナークランプ	6	㉘	平座金 M6	28	㉙	塩ビテープ	8
⑥	先端キャップ(L)	2	⑯	ルーフ金具(ゴム付)	6	㉚	バネ座金 M6	28	㉛	透明チューブ	1
⑦	中間ジョイント	2	⑰	ナットプレート	8	㉜	六角ナットM6	16	㉝	結束バンド	1
⑧	脚フレーム(整流板付)	1	⑱	前用取付フック	2	㉞	袋ナットM6	12			
⑨	脚フレーム	3	⑲	⊕丸ネジセット M6	2	㉟	ナイロンワッシャー	44			
⑩	デッキフレーム	5	⑳	前用インナー保護キャップ	4	㊱	六角ボルトM8	6			

組立て方法

1 A/B/C/D(4種類)の「脚セット」を組立てます。〔図-1〕

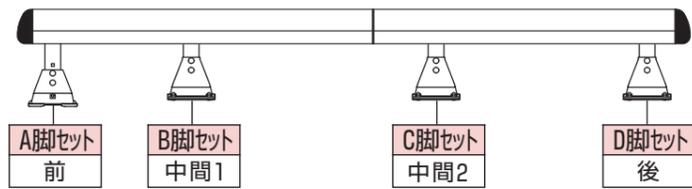


図-1

<A脚セット/前用2セット>

⑭前用インナーランプの下端に⑳前用インナー保護キャップをはめます。
⑫脚ステー(AB)のA刻印面の下2つの角穴に⑭前用インナーランプを
⑳角根ボルトM6、㉑ナイロンワッシャー、㉒平座金M6、㉓バネ座金M6、
㉔六角ナットM6にて仮組付けします。〔図-2-A脚セット〕



<B/C/D脚セット/中間1/中間2/後用各2セット>

⑫脚ステー(AB)のB刻印面、⑬脚ステー(CD)のC刻印面、⑬脚ステー(CD)のD刻印面の^上2つの角穴に⑮インナーランプを上と同じ要領で仮組付けます。
⑯ルーフ金具の凹部角穴と⑮インナーランプ下面の角穴を合わせて
㉔角根ボルトM6、㉑ナイロンワッシャー、㉒平座金M6、㉓バネ座金M6、
㉕袋ナットM6にて図のように仮組付け調整できるようにします。〔図-2-B/C/D脚セット〕

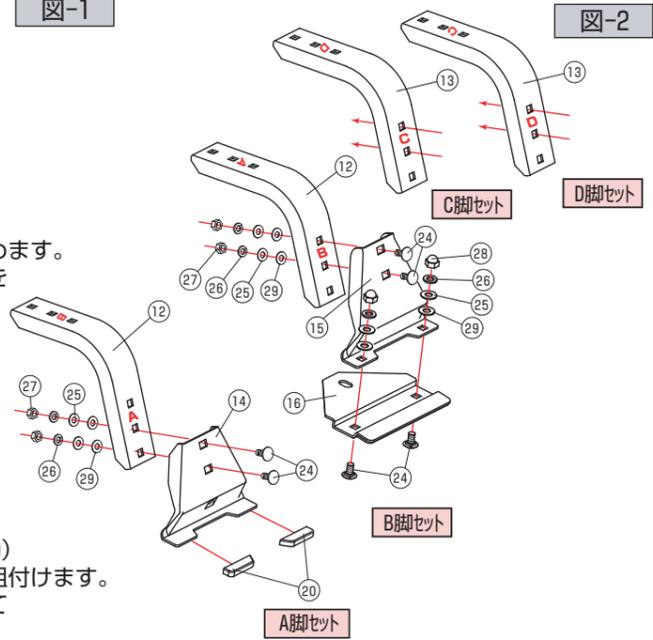


図-2

2 A/B/C/D(4種類)の「脚フレームセット」を組付けます。

⑧脚フレーム(整流板付)には「A脚セット」を⑨脚フレームには「B/C/D脚セット」を組付けしてください。
⑧脚フレームに⑰ナットプレートを通し、「1」で組立てたそれぞれの脚セットを⑳キャップボルトセットM6、
㉑ナイロンワッシャー、にて図の寸法に従ってしっかりと組付けます。
この時、⑫⑬脚ステー上面の両端の角穴を使用してください。〔図-3〕

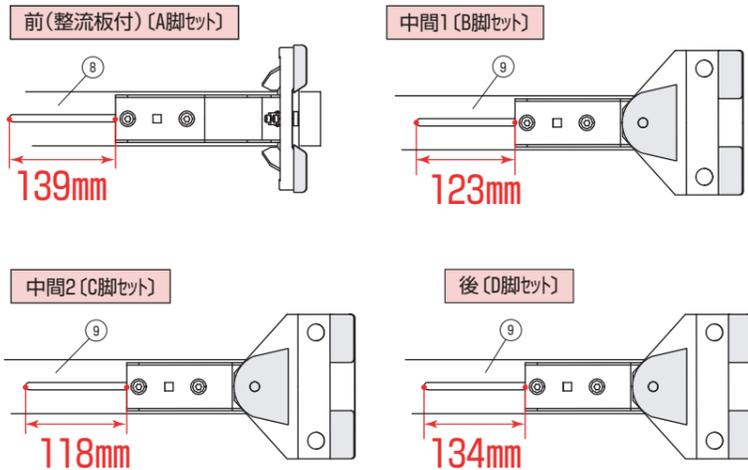


図-3

3 ⑩デッキフレームの両端下面に⑪ゴムパッキンをはめます。
この時、⑪ゴムパッキン・ベラの短い方が下になるようにしてください。〔図-4〕

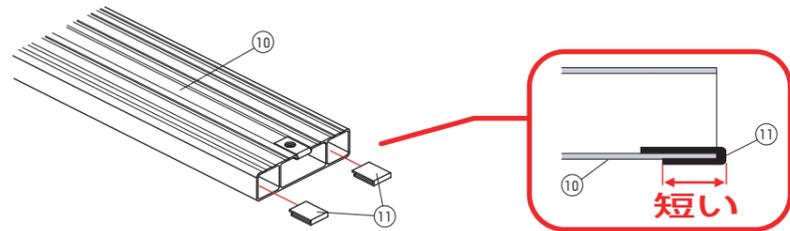
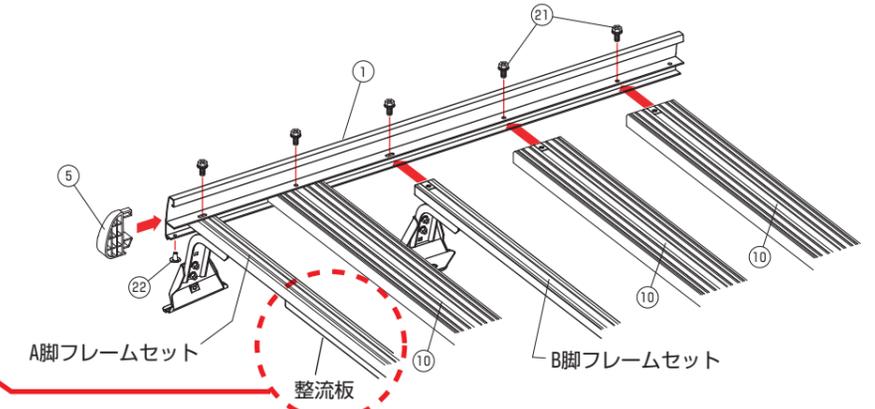
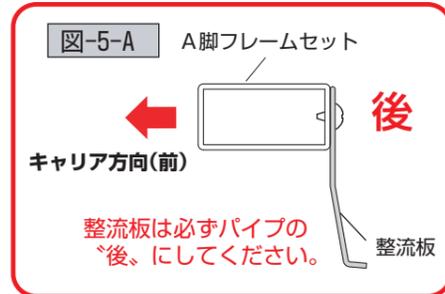


図-4

4 ①②サイドフレーム長(前/左右)に「組立て方法[1][2]」で組立てた「A/B脚フレームセット」と⑩デッキフレーム3本を差込み、⑳㉑六角ボルトセットM6で組付け、先端には⑤⑥先端キャップ(R/L)をはめ込み下から㉒㉓タッピングビス5ミで固定します。
この時、「A脚フレームセット」を①②サイドフレームに差込む際は「整流板」が必ずパイプの「後」にある状態で差込んでください。〔図-5-A〕パイプの「前」に整流板があると高速走行時に「異音」が発生します。〔図-5〕

△注意 ⑩デッキフレームに組付けた、⑪ゴムパッキンは異音防止効果がある為、必ず取付けた状態で①②サイドフレームに差込んでください。
硬くて差込み難い場合は⑪ゴムパッキンに中性洗剤を塗ってから差し込んでください。

図-5



5 [4]同様、③④サイドフレーム短(後/左右)に「組立て方法[1][2]」で組立てた「C/D脚フレームセット」と⑩デッキフレーム2本を差込み、⑳㉑六角ボルトセットM6で組付け、先端には⑤⑥先端キャップ(R/L)をはめ込み下から㉒㉓タッピングビス5ミで固定します。〔図-6〕

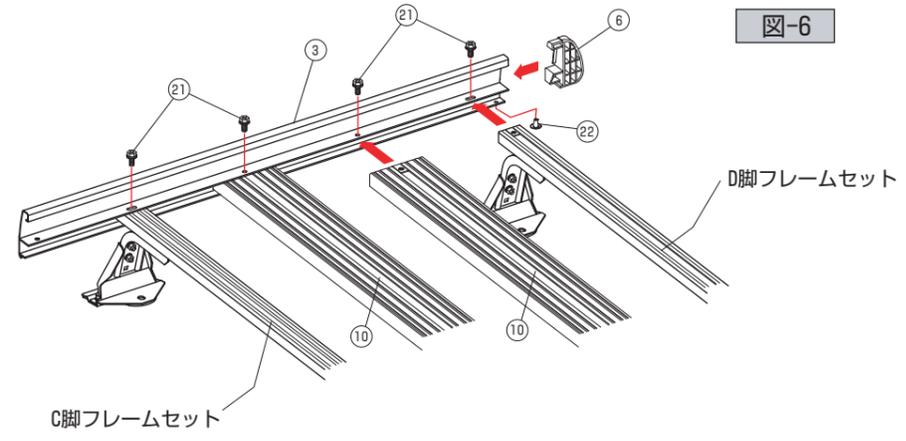


図-6

6 [4・5]で組立てた「A/B脚セット枠」と「C/D脚セット枠」を⑦中間ジョイントにて繋ぎ合わせ、⑳㉑六角ボルトセットM6にてしっかりと固定します。〔図-7〕

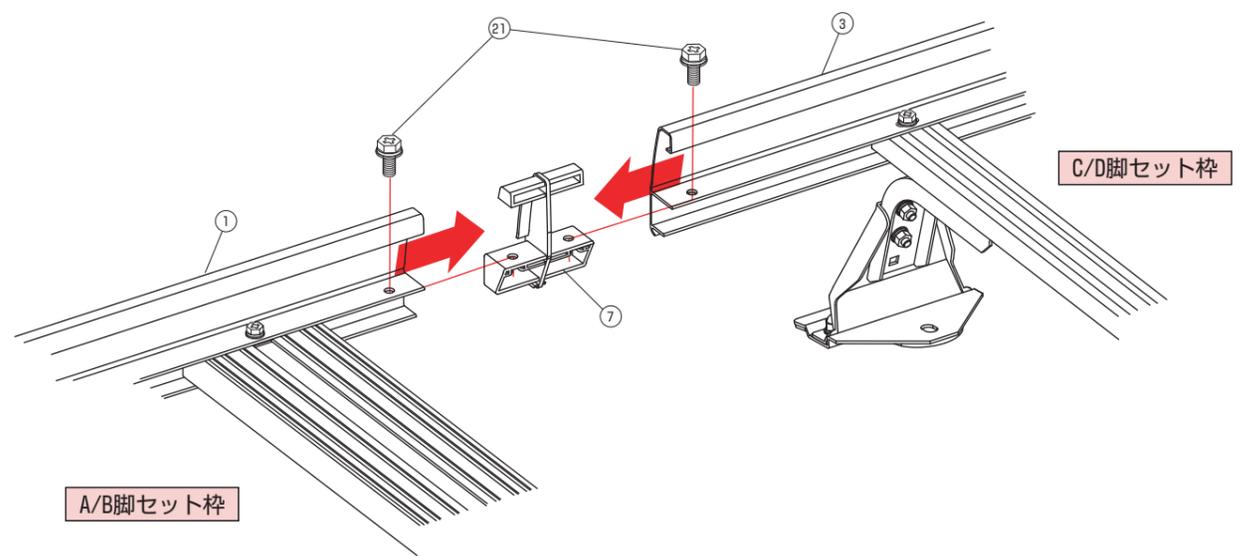
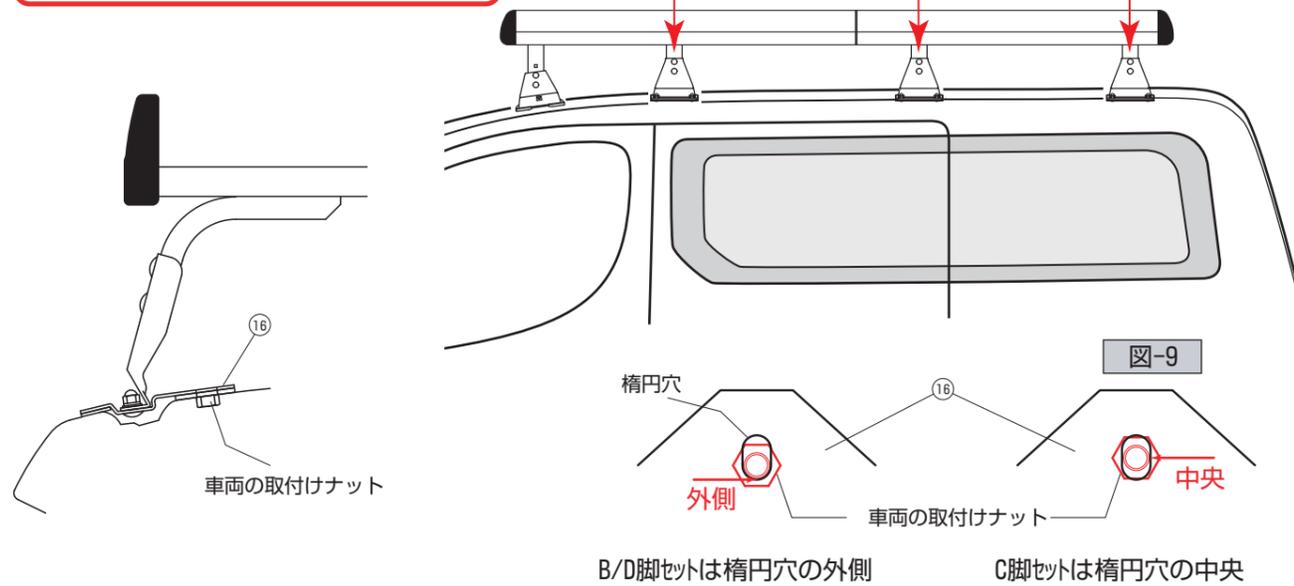


図-7

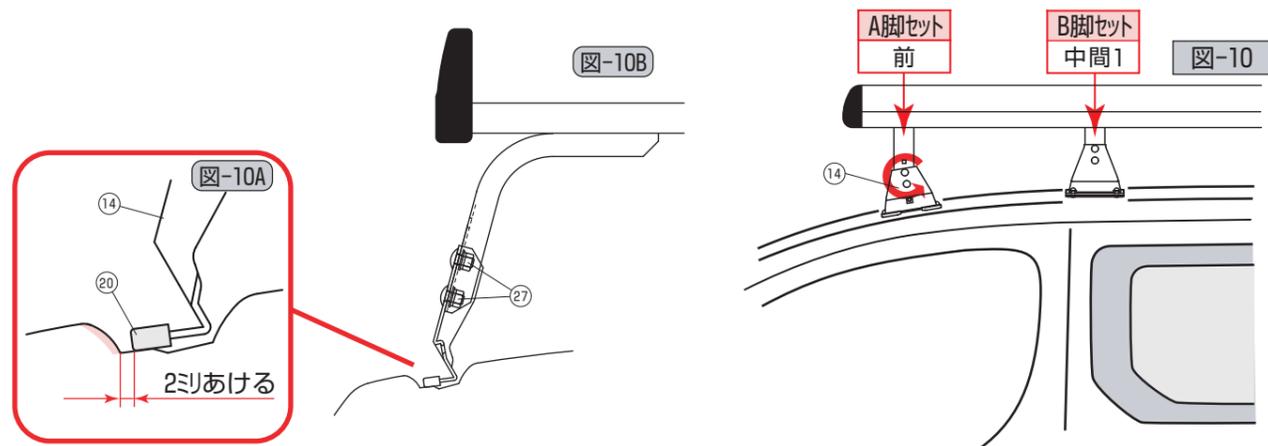
取付け方法①

- 1 屋根に付いているキャップを6ヶ所取外し、周辺の埃や汚れをきれいに拭き取ります。組立てたキャリアの「B/C/D脚セット」が下図指定の位置(キャップ取外し部)にゆっくりとキズを付けないように載せます。〔図-8〕片側の屋根の凹部に⑯ルーフ金具をまたがせ、先の楕円穴の中に「車両の取付けナット」が下図の位置になるように合わせます。〔図-9〕

△注意 キャリアを屋根に載せる際は
多人数でゆっくりとキズを付けない
ように行ってください。

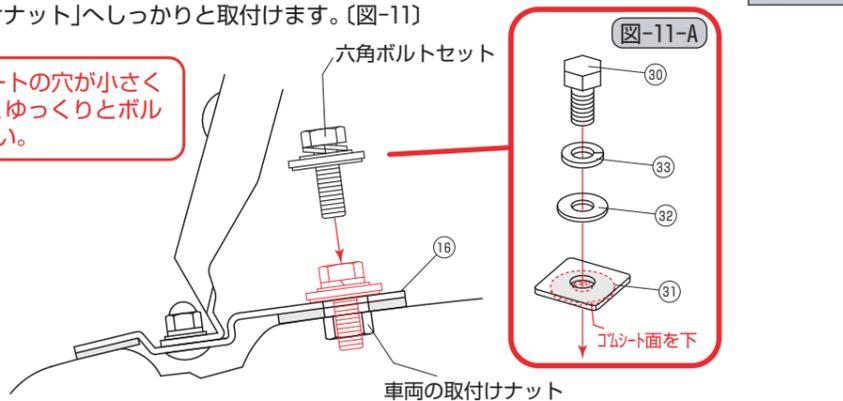


- 2 「A脚セット」は⑭前用インナーランプの下面を屋根の凹の中に置き⑳前用インナー保護キャップが手前側面の壁から2ミリあけた状態になるように調整します。〔図-10A〕この時、屋根の前は少し傾斜している為、⑭前用インナーランプを傾斜に馴染ませます。「組立て方法[1]」で仮組付け状態の㉑六角ナットM6をしっかりと締付けます。〔図-10B〕



- 3 ㉒六角ボルトM8に㉓バネ座金M8、㉔平座金M8、㉕角座金(防水ゴムシート面を下にする)をセットします。〔図-11-A〕セットした「六角ボルトセット」を先程の穴位置合わせを行った「B/C/D脚セット」の⑯ルーフ金具の楕円穴から「車両の取付けナット」へしっかりと取付けます。〔図-11〕

△注意 この時、㉕角座金の防水ゴムシートの穴が小さくボルトを入れる際に窮屈ですが、ゆっくりとボルトの根元近くまで入れてください。



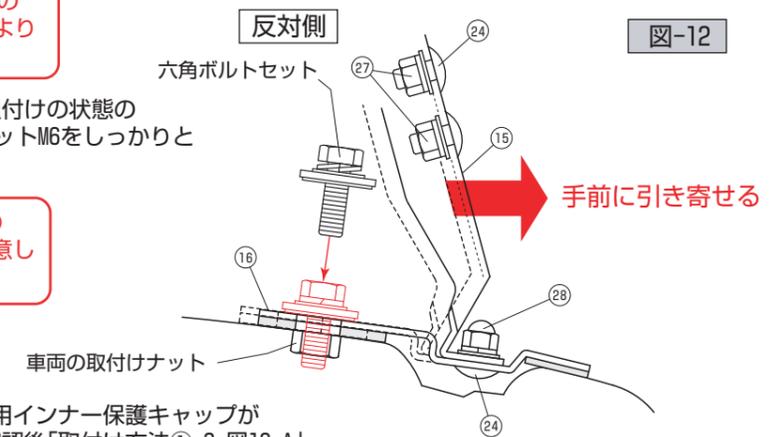
取付け方法②

- 4 反対側も同じ方法の取付けとなりますがこの段階では反対側は⑯ルーフ金具の楕円穴と車両の取付けナットは一致していません。⑮インナーランプを手前に引き寄せながら、⑯ルーフ金具の楕円穴を〔図-9〕の指定位置に合わせ「六角ボルトセット」でしっかりと取付けます。〔図-12〕

△注意 この作業は脚ステーに「ハリ」を持たせる為の重要な作業です。「ハリ」を持たせることによりキャリアの強度が増します。

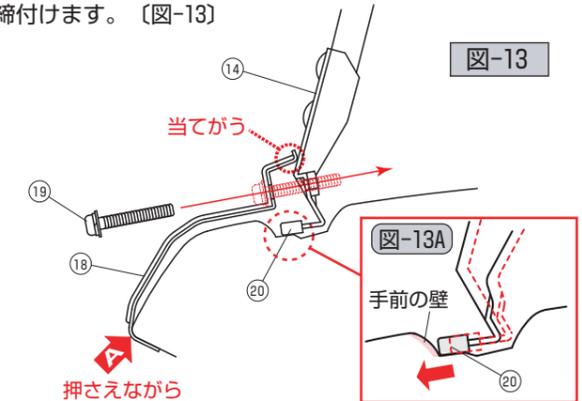
「六角ボルトセット」の取付け後、「組立て方法[1]」で仮組付けの状態の㉑六角ナットM6をしっかりと締付け、その次に㉒袋ナットM6をしっかりと締付けます。〔図-12〕

△注意 ㉑ナットの締め過ぎにより㉒角根ボルトの破損の恐れがある為、締付け過ぎには十分注意してください。



- 5 「A脚セット」に⑯前用取付フックを締付けます。㉑前用インナー保護キャップが手前側面の壁から2ミリあけた状態になっている事を確認後「取付け方法①.2. 図10-A」⑯前用取付フックの下をドアにかませフック上端は⑭前用インナーランプに当てがい[A]部を指で押さえながら㉑丸ネジセットM6にて左右均等にしっかりと締付けます。〔図-13〕

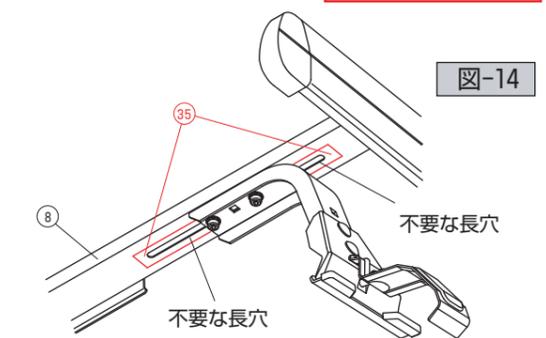
△注意 2ミリあけた状態から締付ける事により手前に引き寄せられ脚フレームに「ハリ」ができます。
※締付けが完了すると㉑前用インナー保護キャップは手前側面の壁に当たります。〔図-13A〕
脚フレームに「ハリ」が無いと異音が発生する為、必ずこの作業は行ってください。



- 6 ㉑脚フレーム裏の不要な長穴を㉑塩ビテープを必要な長さにカットしてふさいでください。〔図-14〕

△注意 この作業を怠ると、笛を吹いたような異音が発生する為必ず㉑塩ビシートを貼ってください。

重要 ㉑塩ビシートは必ず貼ってください。



- 7 最前の運転席側の⑫脚ステー(AB)と車両のラジオアンテナを固定します。ラジオアンテナの先から㉑透明チューブを通し、㉑結束バンドは⑫脚ステー(AB)の角穴に通しておきます。アンテナと⑫脚ステー(AB)とが接触する所を㉑透明チューブで保護し㉑結束バンドで固定します。〔図-15〕

- 8 最後に全ての締付ボルトがしっかりと締付られているか確認してください。その後、キャリアを前後左右に揺すりガタツキが無いことを確認し、ガタツキがある場合は再度取付けをやり直してください。

